

川路山遺跡

県営畑地帯総合整備事業（担手支援）に伴う
埋蔵文化財発掘調査概要報告書（2）

2017年3月

宮崎県西諸県郡
高原町教育委員会

序 文

本書は、「県営畑地帯総合整備事業（相手支援）」に伴い、宮崎県西諸県農林振興局から委託を受け高原町教育委員会が行った発掘調査の概要報告書です。

高原町は霊峰高千穂峰をいただく、神話と歴史に溢れた町です。特に「高原」という地名は「高天原」から転化したと言われており、町内各所に神話にまつわる地名が残されています。高原町は初代天皇である神武天皇の御降誕地であり、また若年期に過ごされたという伝承をもつ場所としても名高い町であります。

高原町教育委員会では畑地帯総合整備事業に先立つ埋蔵文化財発掘調査を平成 27 年度から実施しており、鹿見山 1 期地区畑地灌漑事業に伴う目ノ崎第 1 遺跡の発掘調査ではこれまで高原町内では出土例のなかった縄文時代早期の集石遺構などが見つかっています。

今年度実施したこの川路山遺跡についても、縄文時代早期、前期の遺物・遺構が見つかっています。

今回の調査で得た様々な成果が、学術資料としてだけでなく、学校教育や生涯学習の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する認識と理解の一助になることを期待しています。

最後になりますが、この発掘調査にあたり、多大なる御理解と御協力をいただきました土地所有者の方や周辺住民の方々をはじめ、御指導・御援助をいただきました関係諸機関の方々に心から御礼を申し上げます。

平成 29 年 3 月

高原町教育委員会
教育長 江田 正和

例 言

- 1 本報告書は、平成 28 年度に実施した後川内地区における平成 28 年度畑地帯総合整備事業(相手支援)に伴う川路山遺跡の発掘調査概要報告書である。
- 2 当遺跡は、宮崎県西諸県郡高原町大字後川内字川路山に所在する。
- 3 当遺跡の発掘調査及び概要報告書作成のための整理作業、執筆については宮崎県西諸県農林振興局の委託を受けて、高原町教育委員会が主体となって実施した。
- 4 当遺跡の発掘調査については、宮崎県教育委員会文化財課の指導・助言を受けて、高原町教育委員会教育総務課社会教育係主任主事の玉谷鮎美及び発掘調査員の面高哲郎が担当した。発掘調査は平成 28 年 8 月 23 日から平成 29 年 3 月 27 日まで実施した。
- 5 現場における遺構実測は、調査員及び作業員が行った。
なお、遺構実測図の一部を有限会社ジバンク・サーベイに委託した。
- 6 遺構、遺物の写真撮影は玉谷、面高が行った。
- 7 本報告書の執筆・編集は玉谷が行った。
- 8 本報告書で用いた標高は海拔高であり、方位は全て真北である。
- 9 発掘調査に伴って出土した遺物とすべての記録については、高原町教育委員会で保管している。

本文目次

第1章 序説	
第1節 調査の経緯と経過	1
第2節 調査組織	1
第2章 遺跡の位置と環境	2
第3章 川路山遺跡の調査	3

挿図目次

第1図 遺跡分布図	2
第2図 川路山遺跡調査区全体図及び周辺地形図	3

写真目次

1. 調査区から見た霧島連山	4
2. 基本層序 アカホヤ火山灰～縄文早期包含層縄文前期 遺物出土状況	4
3. 基本層序 縄文早期包含層～小林軽石縄文前期 遺構完掘状況	4
4. 縄文前期 遺物出土状況	5
5. 縄文前期 遺構完掘状況	5
6. 縄文前期 竪穴	5
7. 縄文前期 遺物	5
8. 牛のすね火山灰中の集石遺構 南東から	5
9. 牛のすね火山灰中の遺物集中区	5
10. 牛のすね火山灰ブロック中の土器 南から	5
11. 牛のすね火山灰ブロック中の土器 上面から	5
12. 牛のすね火山灰ブロック中の土器 表面	6
13. 牛のすね火山灰ブロック中の土器 裏面	6
14. 牛のすね火山灰ブロック中の土器火山灰付着状況	6
15. 牛のすね火山灰中遺物集中区 遺物	6
16. 縄文早期 遺物出土状況	6
17. 縄文早期 土器集中状況	6
18. 縄文早期 竪穴断面	6
19. 縄文早期 集石遺構断面	6
20. 縄文早期 集石遺構	7
21. 縄文早期 撚糸文土器出土状況	7
22. 縄文早期包含層出土 平椀式土器	7
23. 縄文早期包含層出土 押型文土器	7
24. 縄文早期包含層出土 塞ノ神式土器	7
25. 縄文早期包含層出土 口縁部	7
26. 縄文早期包含層出土 その他土器	7
27. 縄文早期包含層出土 石器	7

第1章 序 説

第1節 調査の経緯と経過

宮崎県西諸県郡高原町後川内地区では、平成25年度に平成28年度畑地帯総合整備事業（担手支援）が採択され、工事に伴い宮崎県文化財課は宮崎県西諸県農林振興局から文化財の所在の有無について照会を受けた。対象地は周知の埋蔵文化財包蔵地であり、県文化財課が一带の試掘調査を実施したところ、事業実施計画によって切土となるいくつかの遺跡について発掘調査が必要であることが分かった。

その結果を受け、宮崎県西諸県農林振興局、県文化財課、高原町農政産課、町教育委員会で協議を行い、平成28年度に事業実施計画によって切土となり削平される川路山遺跡の約4,800㎡について記録保存のための発掘調査を実施した。調査期間は平成28年8月23日から平成29年3月27日までである。

調査期間中には後川内中学校を対象とした発掘体験に40名、社会教育係が主催する生涯学習講座で30名、発掘調査現地説明会では10名の参加があった。

第2節 調査組織

調査主体者 宮崎県高原町教育委員会

教育長 江田正和

教育総務課長 田上則昭

社会教育係長 中原圭一郎

社会教育係主事 江南智玄（庶務担当）

調査担当者 社会教育係主任主事 玉谷鮎美

社会教育係発掘調査員 而高哲郎

発掘作業員 有田貴子 池崎良夫 五田 悟 今西公実 内村銅代 岡崎順子
奥 喜代司 神邊勝美 上村勝雄 上村恭子 川畑英春 窪田貴代子
小村俊男 佐伯生久子 正入木政喜 瀬戸口長経 瀬戸山美子 竹下博志
竹之下民子 田中祐紀 田中幸吉 鶴田孝徳 原田賢雄 平川 博
松本タケ子 丸山修平 宮井加代子 村山保夫 山崎啓子 柳 桂子
湯舟玲子 吉元義秋（50音順）

整理作業員 梅本かよ子

調査指導 小畑弘己（熊本大学文学部）

松本 茂（宮崎県文化財課）

調査協力 事業側 宮崎県西諸県農林振興局

農村整備課 主査 古城 潤

高原町農政産課

課長 末永恵治

農園産産係 係長 石山拓磨

地権者 上村 睦

地域協力 中別府裕二 上村 隆 中別府学 温水敏浩

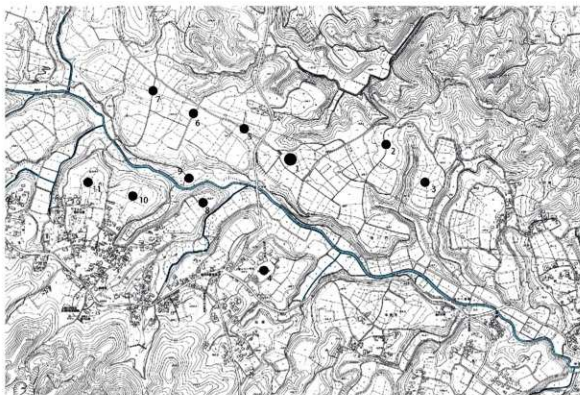
第2章 遺跡の位置と環境

高原町は宮崎県の南西部に位置し、小林市、都城市、鹿児島県霧島市に隣接している。東西約18km・南北約10kmと東西に長く、面積は85.39km²であり、韓国岳（標高1,700m）、新燃岳（1,421m）、中岳（1,332m）、高千穂峰（1,574m）等を中心とする霧島火山群の東麓にある。遺跡は火山灰により形成されたシラス台地上にある。シラスは、約29,000年前に現在の鹿児島県の錦江湾付近（始良カルデラ）から噴出した火山灰で、「始良丹沢（AT）火山灰」「始良大隅軽石」「入戸火砕流堆積物」等で構成されている。

高原町の台地は、大規模に発生した「入戸火砕流堆積物」で構成され、その厚さは厚いところでは約20mにもなる。さらにその後も、霧島火山群から多種の火山灰が噴出し、高原町を覆っている。

その他、牛のすね火山灰下部、鬼界アカホヤ火山灰、牛のすね火山灰上部、御池軽石（霧島御池）、高原スコリア（霧島大谷4～6テフラ）が降下しており、これらの火山灰は、地層の年代を特定するための鍵層となる。

遺跡周辺も入戸火砕流が堆積した台地上に立地しており、南には炭床川が流れている。北側にはシラス台地が産んだ谷状地形があり、湧き水がある。周辺には同じような谷状地形が点在している。周辺は後世の大規模な削平を受けており、元地形を留めている所は少ないと考えられる。川路山遺跡は周辺より一段高い所に立地しており、当時の丘の最も高い部分を削って平らに均し畑地にしている。そのため、上部は削平を受け残っていないが、傾斜地を中心として遺構が残されていた。



- 1 川路山遺跡
- 2 井ノ原遺跡
- 3 赤木八重遺跡
- 4 川除遺跡
- 5 轟遺跡
- 6 立切地下式横穴墓群
- 7 立切第一遺跡
- 8 宮ノ谷遺跡
- 9 向原第一遺跡
- 10 向原第二遺跡
- 11 向原第三遺跡

第1図 遺跡分布図

第3章 川路山遺跡の調査

川路山遺跡の発掘調査は平成28年8月23日から平成29年3月27日まで実施した。遺物、遺構はすべて縄文時代のものである。アカホヤ火山灰上のアカホヤ風化土では、縄文前期の曾畑式土器が出土し、多数のピットが確認できた。アカホヤ直下の土壌化した牛のすね火山灰層では、集石遺構と轟A式土器が出土した。その下位の明褐色のスコリアを含む黒褐色土では、早期の集石遺構、堅穴が、遺物は平碇式土器、塞ノ神式土器等が出土しており、特に摺系文系が多く出土している。



第2図 川路山遺跡調査区全体図及び周辺地形図



1. 調査区から見た霧島連山



2. 基本層序 アカホヤ火山灰～縄文早期包含層



3. 基本層序 縄文早期包含層～小林軽石



4. 縄文前期 遺物出土状況



5. 縄文前期 遺構完掘状況



6. 縄文前期 竪穴



7. 縄文前期 遺物



8. 牛のすね火山灰中集石遺構 南東から



9. 牛のすね火山灰中の遺物集中区



10. 牛のすね火山灰ブロック中の土器 南から



11. 牛のすね火山灰ブロック中の土器 上面から



12. 牛のすね火山灰ブロック中の土器 表面



13. 牛のすね火山灰ブロック中の土器 裏面



14. 牛のすね火山灰ブロック中の土器
火山灰付着状況



15. 牛のすね火山灰中遺物集中区 遺物



16. 縄文早期 遺物出土状況



17. 縄文早期 土器集中状況



18. 縄文早期 壑穴断面



19. 縄文早期 集石遺構断面



20. 縄文早期 集石遺構



21. 縄文早期 摺糸文土器出土状況



22. 縄文早期包含層出土 平椀式土器



23. 縄文早期包含層出土 押型文土器



24. 縄文早期包含層出土 塞ノ神式土器



25. 縄文早期包含層出土 口縁部



26. 縄文早期包含層出土 その他土器



27. 縄文早期包含層出土 石器

報告書抄録

フリガナ	カワジヤマイセキ					
書名	川路山遺跡					
副書名	県営細地帯総合整備事業（担手支援）に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書					
巻次	第2集					
シリーズ名	高原町文化財調査報告書					
シリーズ番号	第16集					
編著者名	玉谷鮎美					
発行機関	高原町教育委員会					
所在地	〒889-4412 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 392 番地					
発行年月日	2017年3月27日					
所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
川路山遺跡	宮崎県西諸県郡高原町大字後川内 2548 番地 2	31°55'47"	131°4'21"	平成28年8月23日 ～ 平成29年3月27日	4.800㎡	記録保存調査
遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
川路山遺跡	散布地	縄文時代早期 縄文時代前期	集石遺構 竪穴	土器 石器 剥片		

高原町文化財調査報告書 第16集

川路山遺跡

県営畑地帯総合整備事業（担手支援）に伴う

埋蔵文化財発掘調査概要報告書（2）

2017年3月27日

編集・発行 宮崎県高原町教育委員会

〒889-4412 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 392 番地

TEL(0984)42-1484 FAX(0984)42-3969

印刷 (株)長崎印刷

西諸県郡高原町大字後川内 18 番地 2

